

千葉大学医学部附属病院で眼圧変動の測定をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年5月6日

眼科

眼科では、Alcon Ex-PRESS®を用いた緑内障手術による眼圧の姿勢変動抑制効果に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2024年2月1日～2025年6月6日の間に眼圧変動の測定をされ（座位と仰臥位で眼圧を測定された方）、その日の座位の眼圧が6～12mmHgの方のうち、原発開放隅角緑内障および正常眼圧緑内障を点眼薬で治療している方、及び原発開放隅角緑内障および正常眼圧緑内障に対して Express 挿入術を行い、緑内障点眼を追加していない方。

1. 研究課題名

「Alcon Ex-PRESS®を用いた緑内障手術による眼圧の姿勢変動抑制効果に関する研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月31日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

緑内障における最も重要な治療は眼圧を下げることです。しかしその他にも様々な要素が緑内障に影響することが知られています。眼圧の姿勢変動の大きさはその一つです。人間は座位（座っている状態）よりも仰臥位（仰向け）や側臥位（横向き）になっているときのほうが眼圧が高く、座位から仰臥位になったときの眼圧の変動をここでは眼圧の姿勢変動と表現しています。緑内障患者において眼圧の姿勢変動は視野障害の悪化に関係しており、特に眼圧が低い患者においては座位の眼圧よりも影響するという報告も

あります。

眼圧を下げる治療には点眼や手術がありますが、眼圧の変動を抑えることが報告されている治療は一部の手術にとどまります。今回研究対象となる Express 挿入術はまだ眼圧の変動について研究されておらず、今回の研究により患者の治療選択の幅が広がることが期待されます。

新たにデータを収集することはせず、臨床の診察の中で測定された情報をカルテから収集し、分析します。

4. 研究に用いる情報の種類

カルテに記載されている年齢、性別、既往歴、眼科治療薬、緑内障病型、手術時の合併症、座位の眼圧、仰臥位の眼圧、角膜厚、測定時の点眼本数、手術前の眼圧と点眼本数を情報収集します。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：眼科 山岸 梓（職名）助教

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院眼科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の

発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

（※研究成果の発表後以外に参加拒否の申し出に対応できないケースがあれば、その旨も記載してください）情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260－8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1－8－1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

眼科 山岸 梓（職名）助教

043（222）7171 内線5325